

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立 太田小学校

学校教育目標

『自他を大切にしながら主体的に学び、生きる力をはぐくむ児童の育成』

「やさしく かしく たくましく みんなで伸び行く太田小」をキャッチフレーズとして、子どもたちにとって居場所のある学級づくりや、家庭や地域とともに歩む学校づくりを推進しています。



■所在地：さいたま市岩槻区仲町1-17-3

■電話：048-756-0515

■FAX：048-758-7487

■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅徒歩20分

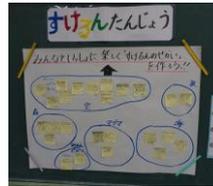
01 児童が安心して生活でき、いのちを大切にできる学校づくり



本校では、さいたま市の「心のサポート推進事業」の取組の一つである、「予防開発的な教育活動の充実」を目指し、「SOSの出し方に関する教育」について研究を進めてきました。

『いのちの支え合い』を学ぶ授業の全学年実施や、児童会によるあいさつ運動、特別活動部による兄弟学級や集会等の活動等により、SOSを出したり受け止めたりすることができる児童の育成に取り組んでいます。

また、教職員も児童のSOSを受け止められるよう、児童へのアンケートの実施や面談週間の設定等を行い、生徒指導・教育相談体制の充実を図っています。令和6年度から校内に設置している「ききょうルーム」の活動を地域の力を借りながら推し進め、自他を大切に、未来社会をリードする人材の育成に努めてまいります。



02 児童とともに育てる家庭・地域との連携、教育環境の整備



家庭や地域と連携を深め、児童のSOSに気付くことができるよう、情報発信と共有化を図っています。岩槻中学校や岩槻小学校、地域との意見交換の場であるコミュニティスクールの活動も推し進め、学校と地域とのつながりを強められるよう努めています。

また、児童の安心感が向上できるように教育環境の整備を行いました。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわやか相談員などの相談員を紹介したり、相談窓口の掲示などを行ったりして、相談しやすい環境づくりに努めています。全学級のいじめ撲滅スローガンや人権標語の廊下掲示により、支持的風土の醸成にも努めています。

さらに、高学年の理科、特に第6学年の理科の学習においては、SDGsを意識した学習展開を行い、学習してきた理科の知識や思考をSDGsと結びつけることで、より身近に、自分事として捉えることを目標とした。

